

## ◆ナックイメージテクノロジー：新製品ズームレンズ 「Angenieux Optimo Style 48-130」発表

(株)ナックイメージテクノロジーの  
取り扱いメーカーであるアンジェ

ニュー社(Angenieux)がNAB  
2017において新製品のズームレ  
ンズ「Angenieux Optimo Style

48-130 T3」を発表した。「48-

130 T3」は、「16-40 T2.8」、「30-

76 T2.8」に続く、オプティモスタイルシリーズ3本目のライトウェイト・コンパクトズームレンズである。

「48-130 T3」はライトウェイト・シリーズにおける最も望遠のズームレンズで、重量は1.95kg、最短撮影距離は0.94m/3feet。卓越した光学性能を有しており、かつ最大直径34.6mmのイメージサークルをカバーすることでARRI ALEXAのオープンゲートやRED 8k Heliumセンサーに対応している。ズーム全域を通して絞りはT3を維持する。全オプティモスタイルシリーズに共通して、ズーミング時のランピング(絞値変動)がなく、低ブリージング(フォーカシング時の画角変動)・低ディストーションを実現し、光学的な収差を最小限に抑えている。精密で堅牢な筐体を持ち、フォーカスの回転角は320度で、フォーカス、アイリス、ズームにそれぞれ業界標準の0.8Mギアを備えている。

3種類のライトウェイト・コンパクトズームを用いることで、シネマトグラファースは16mmから130mmまで、さらに2倍エクステンダーを使用することで、最大260mmまでの焦点距離をカバーすることができる。PLマウントからCanon EFやPanavision PVマウントに簡単に交換可能。またリモートコントロール用内蔵モータを備えたアンジェニューサーボユニット(ASU)をレンズに装着することで、標準的なワイヤレスシステムやブロードキャストシステムを用いてレンズのコントロールが可能になる。

また、新しいアクセサリ「オプティモ56-152 A2S及び30-72A2S専用アンコート・フロントレンズエレメント」「オプティモ44-440 A2S専用特別コーティング・リアレンズエレメント」も発表された。



【問い合わせ先】

株式会社ナックイメージテクノロジー 制作営業部

TEL:03-3796-7901

\*\*\*\*\*

## ◆NHK：有機EL素子寿命と相関が高い材料物性を特定

日本放送協会は超薄型・軽量で持ち運びに便利なフレキシブルディスプレイを実現するため、発光効率の高いリン光材料を使った有機EL素子の研究開発を進めており、これまで素子の長寿命化と低コスト化を実現する開発を行ってきたが、今回、素子の中で光を発する発光層の材料の分子半径を調べ、長寿命化に適した材料の特徴を見出した。

素子寿命が異なる複数の有機EL素子を用いて、ホスト材料の分子構造を調べた結果、最大分子半径が小さい材料ほど、長寿命であることが明

らかになった。これは、ホスト材料とリン光材料の中心間距離が小さい材料では、電流で生成した不安定な状態のホスト材料から電気エネルギーがより短時間でリン光材料に渡され、ホスト材料の劣化が小さいことを示している。この結果により、分子半径が小さいホスト材料が長寿命化に適しているという明確な材料設計の指針が得られた。

今回の研究成果は、5月11日にScientific Reports誌に掲載された。今後、この材料設計の指針によりこれまで長寿命化が困難とされていた青色素子用のホスト材料を開発し、高効率・長寿命なフレキシブルディスプレイの早期実用化を目指す。

【問い合わせ先】

日本放送協会

<http://www.nhk.or.jp/>

\*\*\*\*\*

## ◆NHK メディアテクノロジー：ジャパンディスプレイとの 共同研究開発による 8K ディスプレイをベースとしたライト フィールドディスプレイと次世代 3D 映像を SID DISPLAY WEEK 2017 にて技術展示

(株)ジャパンディスプレイと(株)NHK メディアテクノロジーは次世代映像に向けた共同研究開発を開始し、「17型ライトフィールドディスプレイ」を発表した。ジャパンディスプレイの高精細液晶ディスプレイ技術とNHK メディアテクノロジーの高精細な次世代3D映像を組み合わせ、見る視点によって異なった映像を表示し、実物を見ているかのような立体感のある映像を3D専用メガネを使用することなく見ることができる。

ジャパンディスプレイは2017年5月21日からアメリカロサンゼルスで開催されたSID DISPLAY WEEK 2017で同ディスプレイの技術展示を行った。

【問い合わせ先】

株式会社NHK メディアテクノロジー

<http://www.nhk-mt.co.jp/>

\*\*\*\*\*

## ◆アドビ：電通デジタルと共同開発ソリューション「Adobe Analytics | Dentsu Digital Data Integrate」を提供開始

アドビシステムズ(株)は(株)電通の100%子会社である(株)電通デジタルとデジタルマーケティング領域における統合解析ソリューション「Adobe Analytics | Dentsu Digital Data Integrate」を共同開発した。

同ソリューションは、優れた顧客体験を提供するための包括的なクラウドサービス「Adobe Experience Cloud」の分析ソリューション「Adobe Analytics」内にマスメディアデータやオフラインの購買データを自動連携するサービス。これにより、オフラインデータを含む企業のマーケティング投資全体の費用対効果の分析やオンラインでの顧

客行動や購買との相関関係を一元的に分析することが可能になる。オフラインデータを含む企業のマーケティング投資全体の投下量と、オンラインでの顧客行動や購買との相関関係を一元的に分析し、オンラインとオフラインを統合したマーケティング効果の最大化や Web コンテンツの施策改善を図ることができる。

【問い合わせ先】

アドビシステムズ株式会社

<http://www.adobe.com/jp/>

\*\*\*\*\*

## ◆日本エレクトロ・ハーモニクス：新ブランド「LOKNOB」の取り扱いを開始

日本エレクトロ・ハーモニクス(株)は新ブランド「LOKNOB」の取り扱いを開始した。動かないようにロックできるコントロール・ノブで今使用しているノブと付け替えるだけで簡単にノブをロックできる。ロックした後もノブを上へ引き上げればロックが解除され、ノブを動かして指を離せば再びその位置でロックできる。設定を変える必要が無い場合は「Tour Cap」に付け替えればノブは動かなくなる。「Hugga」をノブの底に貼れば摩擦で回転が遅くなる。



【問い合わせ先】

日本エレクトロ・ハーモニクス株式会社

TEL:03-3232-7601 FAX:03-3232-7424

\*\*\*\*\*

## ◆シンタックスジャパン：RME のフラッグシップ USB オーディオ・インターフェイス「Fireface UFX II」発売



(株)シンタックスジャパンは、プロのオーディオ・エンジニアが、現場やスタジオに求める、すべての機能と性能を 1U のコンパクトなボディーに集約した、独 RME のフラッグシップ・オーディオ・インターフェイス「Fireface UFX II」を、2017 年 4 月 25 日から発売した。プロ・オーディオに求められるすべての性能と機能を 1U のコンパクトなボディーに集約し、ミキシング、レコーディング、モニタリング環境にシームレスに極めて柔軟に対応する「Fireface UFX II」は、サウンド、機能、安定性、ロー・レイテンシーという点において一切の妥協を許さないユーザー、そしてプロフェッショナル用途でのニーズを満たす製品を待望するユーザーのために RME の技術を集約し開発

された。最大サンプル・レート 192kHz、アナログ 12 チャンネル、ADAT 16 チャンネル、AES 2 チャンネル、合計 30 入力+30 出力、これらすべてが高いドライバー開発技術により、USB 2(USB 3 互換)接続にて超低レイテンシーでコンピューターへと伝送され、高品位な AD/DA コンバーターと最適化されたアナログ回路により、一切の色付けがない澄み切った「正確な音」を届ける。

「Fireface UFX II」は RME の MADI 搭載の究極のフラッグシップ・インターフェイスである「Fireface UFX+」の高い技術仕様をそのまま受け継いでいるため、有する機能の性能は全て「Fireface UFX+」と同等。「Fireface UFX+」との機能差は、1 ポートで 64 チャンネルを伝送する業界標準の多チャンネル規格の MADI 並びに Thunderbolt/USB 3.0 のみ。もちろん、RME の最大の魅力である高い安定性を誇る独自開発のドライバーにより、「Fireface UFX II」に搭載されている USB 2(USB 3 互換)は 30 入力+30 出力と超低レイテンシーを実現する。

「Fireface UFX II」の革新的な機能「DURec™」は、フロント・パネルに備わった USB 端子を利用して、全入力/全出力(計 60 チャンネル)を直接録音/再生するデジタル・レコーダー機能である。本体のみでの利用はもちろんのことコンピューターと接続して DAW と併用することで、1U サイズの完璧なバックアップ・レコーディング・システムにもなる。録音されたデータは「Fireface UFX II」が動作しているサンプルレートで、インターリーブ形式の Wave ファイル(.wav)として記録される。解像度は 24bit 固定となり、接続された USB ドライブからインターリーブファイルをお使い DAW にインポートすることにより簡単にモノ・ファイルが展開されるので、すぐに編集作業へと移行することが可能。また、内部のリアルタイム・クロック(RTC)によりファイルにタイムスタンプが付与されるため、ポストプロダクション作業も効率よく行うことができる。

## ◆シンタックスジャパン：「RME ADI-2 Pro」への「Sound it! for ADI-2 Pro」バンドル開始

(株)シンタックスジャパンは(株)インターネット協力のもと、PCM768kHz/32bit(int)・DSD11.2MHzの録音・再生が手軽に行えるソフトウェア



「Sound it! for ADI-2 Pro」(Win/Mac)の、RME のリファレンスクラス ADA・Audio I/O「ADI-2 Pro」への無償バンドルを開始した。「Sound it! for ADI-2 Pro」は DSD256(11.2MHz)、PCM768kHz までのスーパー・ハイサンプルレートに対応しており、DSD は、一切 PCM フォーマットに変換することなくネイティブでの録音・再生を行うことが可能。DSD から PCM 変換を行う場合、通常は、DXD と呼ばれる PCM 352.8 kHz/24bit ファイルに変換するのが一般的だが、同ソフトウェアは、PCM で最大 768kHz/32bit(int)に対応しているため、はるかに高いサウンドクオリティを保ったまま編集を行い、DSD に再変換して書き出すことが可能。

なお同ソフトウェアは(株)インターネットの「Sound It! 8 Pro」の特別バージョンとして ADI-2 Pro 向けに機能をセレクトした製品であり、

DSD・PCMでの全サンプルレートでの録音再生など基本的な機能は搭載されているが、エフェクトなどは一部のものしか利用できない。「Sound It! 8 Pro ダウンロード版」20,000円（税別）へのアップグレードは13,800円（税別）で提供されている。

## ◆シンタックスジャパン：DSD 11.2MHz 音源「日本のルーツミュージック・シリーズ」第一弾と「RME ADI-2 Pro」バンドル販売開始

録音機材の発達と小型化により、ミニマムなシステムであっても以前では考えられないほどのクオリティで録音を行うことが可能になった今の時代ならではのハイレゾリレーション録音を、日本を代表するトップ・エンジニアが、その場の空気も含め、ありのままにアーカイブした音源が「日本のルーツミュージックシリーズ」である。その第一弾として縄は竹富島の伝統歌のユンタをオリジナルの歌詞で23番まで録音した貴重な音源、「The Sound of Taketomi Island-Okinawa」が発売された。同作品は、数々の受賞歴を有し、海外からの評価も高いUNAMASレーベルとのコラボレーションによって実現した。

録音は、UNAMASレーベルの主催者であるMick Sawaguchi氏。竹富島の大自然、波の音、木々のせせらぎを空気感たっぷりにキャプチャーしたフィールド録音はPCM 192 kHz/24 bitで行われ、萬木忍氏の唄と三線演奏はPCM 192 kHz/24 bitならびにDSD 11.2 MHzの二つの異なるシステムにて行われた。UNAMASレーベルからは、4chサラウンドで収録されたフィールド・レコーディングと、萬木氏の唄と演奏をミックスし「サラウンド・スケープ」シリーズとしてリリース。そして、今回RME Premium Recordingsからリリースされた同作品は、同じ演奏をDSD 11.2 MHzにて収録し、PCMにて収録されたフィールド・レコーディングの音源とをミックスしたものである。なお、PCMでの録音は、サラウンドの特性を生かし、自然音との融合を目指した空気感の多いマイキング、そして、DSDは、音楽重視でしっかりした近接音メインのマイキングとなっており、この2作品を聞き比べることにより、同じ演奏を異なるコンセプトと技術で録音された音源を聞き比べることができる貴重な音作品となっている。

そして「The Sound of Taketomi Island-Okinawa」の録音に使われた機材はスーパー・ハイレゾリレーションにて録音を行うことができる「RME ADI-2 Pro」である。この「ADI-2 Pro」を中心に竹富島でのDSD録音に実際に使用されたマイクやマイクブリなどすべて含むコンプリート・バンドル・セット「ADI-2 Pro recOne+」も販売される。各製品を個別に購入するより約10万円お得になる。



【問い合わせ先】

株式会社シンタックスジャパン

<http://synthax.jp/news.html>

## ◆ゼンハイザー：ヘッドフォンアンプ「HDV820」発売

ゼンハイザー(株)はゼンハイザー・

オーディオファイルシリーズの最新モデル「HDV820」を世界



に先駆けて発売する。同機は世

界初のダイナミックヘッドフォンアンプ「HDVD800」をベースとしている。

デジタルパーツには完璧なトポロジーバランスの高品質デジタルアナログコンバータESS SABRE32を採用。32ビットPCMで最大384kHzのサンプリングレート、もしくは最大12.3MHzのDSDモードでの使用が可能。オーディオ出力の構成はアンバランス出力×1(XLR3 / 6.3mm + NEUTRIK ソケット)、バランス出力×1(XLR4h)、バランス出力×2(4.4mm Pentaconn ソケット)。Pentaconnはヘッドフォン用バランス接続コネクタのJEITAの新たな規格で、直径が4.4mmのため、モバイル／固定のいずれの使用環境にも最適。またPentaconnコネクタは非変調で抵抗値が極めて低いので、歪みゼロの信号送信を可能にする。

【問い合わせ先】

ゼンハイザージャパン株式会社

<http://www.sennheiser.co.jp/>

\*\*\*\*\*

## ◆キャノン：「EOS 5D Mark IV」、Canon Logに対応するための、有償アップグレードサービスを2017年6月下旬より開始

キャノンマーケティングジャパン(株)は「EOS 5D Mark IV」をCanon Logに対応させるための有償アップグレードサービスを2017年6月下旬より開始することを発表した。同アップグレードを受けることでCanon Logを選択できるようになり、記録することが可能になる。Canon Logは、ポストプロダクション処理を前提とした自由な画づくりが行える記録方式で、ワイドダイナミックレンジが特長。コントラストとシャープネスを抑えることで黒つぶれや白トビが少なく、暗部からハイライトまで幅広い映像情報を記録。Canon Logを使用することで、広いダイナミックレンジを活かした映像制作が可能になる。サービス提供価格は10,000円（税別）。キャノンサービスセンター各拠点に持ち込むか、全国一律1,500円（税別）のらくらく修理便でサービスを受けられる。

## ◆キャノン：簡易株式交換による宮崎ダイシンキャノン株式会社の完全子会社化に関する株式交換契約締結

キャノン(株)は、2016年度からの新5カ年計画「グローバル優良企業グループ構想フェーズV」において、「戦略的大転換を果たし、新たな成長に挑戦する」をスローガンに、現行事業の再強化を図る一方、事業構造の転換による成長を目指して、新規事業の育成、強化に取り



組んでいる。

同社は市場変動による需要の変化に即座に対応するため、生産機能の国内回帰により開発・生産間の相互連携を強化しながら、自動化の強力な推進等を通じてカメラの生産技術を磨きあげてきた。そうした取り組みをさらに加速させるため、1980年にキヤノンの持分法適用会社となって以降、主にレンズ交換式デジタルカメラの製造で当グループの発展に寄与してきた宮崎ダイシンキヤノンを完全子会社化することにより、グループ会社の経営資源の有機的な結合を促進しながら、重要な戦略の意思決定を機動的かつ迅速に実行できる体制を構築する。同株式交換は、キヤノンについては、会社法第796条第2項の規定に基づく簡易株式交換の手続により株主総会の承認を受けずに、宮崎ダイシンキヤノンについては、2017年5月11日に開催予定の臨時株主総会において本株式交換の承認を受けたうえ、2017年6月1日を効力発生日として行う。

## ◆キヤノン:10周年を迎える「綴プロジェクト」の作品を展示 東京国立博物館で親と子のギャラリー「びょうぶとあそぶ」を開催

キヤノン(株)は「綴(つづり)プロジェクト」(正式名称:文化財未来継承プロジェクト)の10周年を記念し、「綴プロジェクト」の一環として制作された文化財の高精細複製品を活用した企画展“親と子のギャラリー「びょうぶとあそぶ」”を、7月4日から9月3日まで、東京国立博物館と共同で開催する。



親と子のギャラリー「びょうぶとあそぶ」は、東京国立博物館において夏休み期間に開催される企画展。今回の企画では、特定非営利活動法人 京都文化協会と当社による「綴プロジェクト」の一環として制作された、「松林図屏風」と「群鶴図屏風」の高精細複製品を展示する。「綴プロジェクト」は、オリジナル文化財の保存と高精細複製品の活用を目的として、京都文化協会が主催し、キヤノンが共催して推進している社会貢献活動。同社の入力、画像処理、出力に至る先進のデジタル技術と、京都伝統工芸の匠の技のとの融合により、屏風や襖絵、絵巻物など古くから日本に伝わる貴重な文化財の高精細な複製品を制作して寄贈している。

同社のデジタル映像技術を用いて、高精細複製品に映像を投影するプロジェクトマッピングを行うなど、オリジナルの文化財では難しい、作品と映像の立体的な融合による新たなアート体験を提供する。また、期間中は、屏風のミニチュアで遊びながら屏風について楽しく学べるコーナーや、オリジナルの屏風づくりを体験できるワークショップなども開催される。

【問い合わせ先】  
キヤノン株式会社  
<http://canon.jp/>

## ◆キヤノンマーケティングジャパン:コミュニケーションスペース「キヤノンプラザ大阪」がオープン

キヤノンマーケティングジャパン(株)はデジタルフォトの楽しさと可能性を広めるコミュニケーションスペース「キヤノンプラザ大阪」を、大阪市北区に5月29日にオープンする。

キヤノンプラザ大阪は、パーソナル製品のショールームである「キヤノンデジタルハウス」、優れた写真家の作品を展示し上質な写真文化を発信する「キヤノンギャラリー」、キヤノン製品の基本的な点検清掃や持ち込み修理を受け付ける「キヤノンサービスセンター」、初心者からハイアマチュアの方まで楽しく学べる写真教室「キヤノン EOS 学園」の4つの機能を集合した、双方向型のコミュニケーションスペースである。

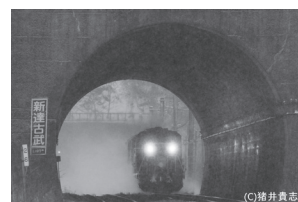
現在梅田(大阪市)にあるキヤノンマーケティングジャパン大阪支店が中之島に移転することに伴い、コミュニケーションスペースも新しく「キヤノンプラザ大阪」として移転、リニューアルオープンする。大阪の経済・文化の一大拠点において、地域に根差した写真文化の発展に尽力するとともに、ユーザーの意見を今後の企業活動へフィードバックする重要な役割を担う。

### 【問い合わせ先】

キヤノンデジタルハウス梅田 TEL:06-7739-2129  
キヤノンギャラリー梅田 TEL:06-7739-2125  
キヤノンサービスセンター梅田 TEL:06-7739-2300  
キヤノン EOS 学園大阪校 TEL: 06-7739-2302

## ◆キヤノンマーケティングジャパン:猪井貴志写真展 「鉄景漁師」を開催

キヤノンマーケティングジャパン(株)はキヤノンギャラリーSにて猪井貴志氏による写真展「鉄景漁師」を2017年6月22日から開催する。猪井氏は日本を代表する鉄道写真家の一人で、同展は猪井氏の50年にわたる活動の集大成として、約60点の写真作品の展示に加え、スライドショーで作品を投影する鉄道写真展になっている。作品は最新のキヤノンの大判プリンター「imagePROGRAF」でプリントし、展示される。



### 開催概要

開催日程: 2017年6月22日(木) ~ 8月8日(火)  
開催時間: 10時 ~ 17時30分  
休館日: 日曜日・祝日  
開催会場: キヤノンギャラリーS  
入場料: 無料

【問い合わせ先】  
キヤノンギャラリーS  
TEL:03-6719-9021

## ◆ワコム：富士通クライアントコンピューティング、デジタル 文具推進団体「DSC」に加盟

(株)ワコムが提唱し、デジタルインクの普及やデジタル文具市場の発展を推進する非営利団体「デジタルステーションナリー コンソーシアム インク（以下、DSC）」に、富士通クライアントコンピューティング(株)が運営の主導的な役割を担う「ボードメンバー」（コントリビューター・レベル）として加盟した。

DSCは昨年9月に設立されて以来、運営を主導する「ボードメンバー」と、デジタルインクの技術 WILL(Wacom Ink Layer Language) のライセンスを受け、ワーキンググループ等に参加し、ネットワーク拡充や情報入手のできる「プロモーターメンバー」の2種類の会員を募ってきた。

【問い合わせ先】

株式会社ワコム

<http://www.wacom.com/ja-jp>

\*\*\*\*\*

## ◆ティアック：日本語メニュー表示、Wi-Fi 対応のリニア PCM レコーダー「DR-22WL VER2-J」およ び「DR-44WL VER2-J」を新発売

ティアック(株)は日本語表示に対応したリニア PCM レコーダー「DR-22WL VER2-J」および「DR-44WL VER2-J」を6月上旬に発売する。Wi-Fi 経



「DR-22WL VER2-J」



「DR-44WL VER2-J」

由でアプリからのフルリモートコントロールに対応したモデル「DR-22WL」「DR-44WL」をリニューアルして日本語表示に対応させたもので、既にある「DR-22WL」「DR-44WL」も無償アップデートによって日本語に対応する。

「DR-22WL VER2-J」はだれでも簡単に高音質リニア PCM 録音を楽しめるように、使いやすいユーザーインターフェースを追求したシンプルなモデル。管弦楽器やピアノ、アコースティックギターなど、アコースティック楽器を中心とした音楽録音に適している。

「DR-44WL VER2-J」は PGA やショックマウント機構を備えた高音質回路を持つ4トラックのリニア PCM レコーダー。搭載されたステレオコンデンサーマイクでの録音のほか、XLR/TRS 外部入力端子を活用することでより高度な録音にも対応できる。加えて、楽曲制作に活用できる MTR モードが搭載。ミュージシャンのコンサート録音から音楽制作まで幅広い用途に対応する。ステレオ録音だけでなく、2ステレオ、ステレオ+2モノラルなど用途に合わせた使い方ができ、よりハイレベルな録音を求めるユーザーに適している。

両機種ともに Wi-Fi 送受信機を内蔵。日本語表示に対応した無償の専用アプリから Wi-Fi 接続経由でフルリモートコントロールが可能であ

る。用途や環境に合わせて2種類の接続方法を使うことができ、屋内での用途に適した Wi-Fi ルーター経由接続の [VIA ROUTER モード] と、屋外に適した Wi-Fi ルーター不要の [TO DEVICE モード] を装備している。内蔵マイクには入念なチューニングが施されており、一般的な IC レコーダーやビデオカメラの追従を許さない高音質録音を提供する。

## ◆ティアック：ピンマイクレコーダー「DR-10L」を新発売

ティアック(株)はピンマイクレコーダー「DR-10L」を TASCAM(タスカム)ブランドで全国の設備機器代理店および量販店等を通じて6月上旬に販売開始する。



「DR-10L」はピンマイクから直接録音することが可能なレコーダー。軽量、コンパクトなウェアラブル設計で、ブライダル、イベントや番組、舞台などでの音声収録から講義やセミナーの録音など、幅広い用途において手軽に高音質な音声収録ができる。シンプルな操作と多彩な機能で、確実な録音をサポートする。

### 【主な特長】

- ・ 44.1kHz/48kHz, 16/24ビットでのリニア PCM 録音 (モノラル)
- ・ WAV ファイルでの記録方式を採用 (BWF フォーマットにも対応)
- ・ 記録メディアに microSD/microSDHC カードを採用 (最大 32GB の microSDHC カードが使用可能)
- ・ ピンマイクとレコーダーはスクリューロックで確実な接続
- ・ 単4形電池1本で駆動し、10時間以上の録音が可能 ※ アルカリ乾電池 (EVOLTA) 使用時
- ・ リミッター、デュアルレコーディング機能など録音レベルに起因するトラブルを抑止する機能を多数搭載
- ・ 録音中の誤操作を防止するスライド式録音スイッチとホールド機能
- ・ 電池が切れる前に収録中のデータ消失を回避する自動ファイルクローズ機能
- ・ 録音ファイルを確認できる再生機能と入力モニターが可能なヘッドホン出力
- ・ 時計機能内蔵、ファイルに時間情報の付加が可能
- ・ micro USB B 端子装備

## ◆ティアック：TASCAM USB オーディオインターフェースシリーズが新たなバンドルソフト構成でリニューアル

ティアック(株)は USB オーディオインターフェース「US-2x2-SN」、「US-4x4-SN」および「US-366-SN」をバンドルソフトを変えて6月上旬に発売する。

「US-2x2-SN」「US-4x4-SN」は、特にこれからパソコンを使ったレコーディングを始めたいミュージシャンにあわせて設計された製品で、複雑な機能を排し、機材の知識がなくても簡単にプロフェッショナル

クオリティの高音質レコーディングが楽しめるオーディオインターフェースである。放送業務用機器にも搭載される低ノイズ Ultra-HDDA マイクプリアンプを搭載しており、コンデンサー / ダイナミック問わず、マイクを接続し音量を上げれば高品位なサウンドをパソコンに録音することができる。



「US-2x2-SN」



「US-4x4-SN」



「US-366-SN」

「US-366-SN」はモード切替機能やリバーブエフェクトを搭載し、インターネットライブ配信にも音楽制作にも活用できる多機能なオーディオインターフェース。DSP チップの搭載によりミキサーをはじめとする

様々な機能をコンパクトなボディで実現。特に MULTITRACK / STEREO MIX のモード切替によって音楽制作 / インターネットライブ配信それぞれに対応することができる。

## 【問い合わせ先】

ティアック株式会社 タスカムカスタマーサポート

TEL:0570-000-809(ナビダイヤル)

TEL:042-356-9137(IP 電話・PHS)

FAX:042-356-9185

## 【問い合わせ先】

ヤフー株式会社

<https://www.yahoo.co.jp/>

\*\*\*\*\*

## ◆ヤフー：プログラマティック広告領域を強化

～「Yahoo! アドエクスチェンジ」を通して、  
より信頼性の高いインターネット広告取引を実現～

ヤフー(株)はマーケティングソリューション事業において、プログラマティック広告領域の取り組みを強化していくことを発表した。広告取引プラットフォーム「Yahoo! アドエクスチェンジ」を通し、広告出稿者および媒体社にとって、より質と信頼性の高い広告取引を実現していく。

昨今、さまざまなアドテクノロジーの台頭により、インターネット広告取引の高速化が進んでいる。点在していた広告枠がネットワーク化され、ターゲットした枠へ即時の入札・配信が可能なリアルタイム広告取引が拡大している。そのような中、広告出稿側からは質の高い媒体枠がこれまで以上に求められるようになり、取引についても従来のオープンな入札から、限定された広告出稿者と媒体社間で取引が成立するプライベートマーケットプレイスなどの新しい取引形態に注目が集まっている。一方、媒体社側はグローバル規模でより多くの広告出稿者に媒体枠を販売し、信頼性を担保しながら収益の最大化を目指している。

## ◆Avid : 「Avid Pro Tools」に Dolby Atmos のネイティブ・ミキシングを追加

アビッドテクノロジー(株)はプロフェッショナル・デジタル・オーディオ・ワークステーション「Avid Pro Tools」最新版において、Dolby Atmos のネイティブ・ミキシングを提供すると発表した。2017 年第 2 四半期にリリースされる予定。Avid と Dolby のコラボレーションにより、Pro Tools は、複雑なワークフローを効率化し、スムーズで効率的なオーディオ・ミキシングを促進して、業界で使われる主要なイマージング・オーディオ・フォーマットに対応する。

「Pro Tools」で Dolby Atmos ワークフロー機能を強化したことにより、マルチチャンネル、オブジェクト・ベースのオーディオ・フォーマットでの作業がスムーズになる。新機能には、ビルトインの Dolby Atmos パンニング機能、Avid のプロフェッショナル・ミキシング・コントロール・サーフェスとの強固な統合、Dolby Rendering / Mastering Unit (RMU) による高度な自動化などがある。

同システムの機能強化には、フォルドダウン機能を含む Dolby Atmos 7.1.2 オーディオ・ステムのサポートが含まれる。サラウンドとオブジェクト出力間でのオンザフライのスイッチングと自動化は、柔軟性を向上させる。また、同システムは、Dolby RMU と連動した入力と再生モード間での自動切替とオーディオを同期して、流れるよ



うなレコーディング・ワークフローを実現する。さらに、オブジェクト・メタデータを含む ADM BWAV ファイルのサポートにより、リミキシングして、コンテンツを効率的かつ経済的に再利用することができる。

## ◆Avid：業界標準ビデオ編集システムの無償版「Media Composer | First」を公開

アビッドテクノロジー(株)は業界標準ビデオ編集システムの無償版「Media Composer | First」のリリースについて発表した。「Media Composer | First」は、映画製作者やテレビ番組制作者が使用する「Media Composer」をベースとした無償版のフルビデオ編集機能システムである。「Avid MediaCentral Platform」上では、「Media Composer | First」ユーザーも「Avid Artist Community」を通じて、制作やメディアのプロフェッショナルを目指す人々と簡単に繋がり、コラボレーションすることができる。

同システムは「Media Composer」エディターが使うものと同じ機能や機能性の多くを搭載し、パワフルな最新式のインターフェース、シンプルで使いやすい編集ツールを幅広く提供する。ビデオ・トラック×4、オーディオ・トラック×8、多様なビジュアル・エフェクト、トランジション、カラーコレクションのプリセット、タイトルのテンプレートを使い、ビデオ、ダイアログ、音楽、サウンド・エフェクトのレイヤーを素早く編集して、プロ品質の魅力的なビデオコンテンツを制作することが可能。ワンクリックのパブリッシングにより、YouTube、Vimeo、Facebook 等、人気の高いソーシャル・メディアで簡単に共有することもできる。

## ◆Avid：「Avid NEXIS」、比類ない性能、拡張性、Pro Tools サポートを提供

4月26日、アビッドテクノロジー(株)はメディア制作向けソフトウェア定義型ストレージ・プラットフォーム「Avid NEXIS」の新バージョンのリリースを発表した。「Avid NEXIS」は、Avid の全てのアプリケーションおよびソリューションと同様、業界随一のオープン性を誇り、メディア用にデザインされた効率的な統合プラットフォーム MediaCentral Platform で稼働する。効率的で安定したスピーディなワークフローを可能にする最新のソフトウェア・リリースにより、「Avid NEXIS」と「Avid NEXIS | PRO」システムは、ポスト・プロダクションや放送局の非常に集約化した環境においても、リアルタイムのメディア制作を実現する。さらに、「Avid Pro Tools」のサポートにより、プロレベルのオーディオ制作に対応する共有ストレージ・ワークフローを提供する。

大規模なポストや放送環境向けのストレージ・システム (E5、E4、E2) の性能を向上し、ひとつのストレージ・グループで最大28GB/s まで帯域幅を拡張可能になった。小規模制作環境には、最大 2.4GB/s をサポートするリアルタイム 4K 性能と、業界トップのコラボレーション能力を備えたコスト効率の良い「Avid NEXIS | PRO」プロフェッショナル・クラス・ストレージを使用できる。「Avid NEXIS」と「Avid NEXIS | PRO」は、「Avid Media Composer」だけでなく、Adobe Premiere Pro CC、Apple Final Cut Pro X、DaVinci Resolve 等を

含む編集及び、制作ツールを使った制作チームによるリアルタイム・コラボレーションも可能にする。また、サードパーティ製アセット管理システムとも容易に統合可能。

デジタル・オーディオ・ワークステーション「Avid Pro Tools」が、「Avid NEXIS」にて認証され、「Pro Tools」と「Avid NEXIS」の併用により、メディア・ストレージの共有プールでプロジェクトを共有し、異なるシステム間でファイルを移動する無駄な時間を削減して、制作時間を短縮することができる。

新機能として 1 メディア・パックにつき 600MB/s までサポート可能となり、高性能ストレージ・グループ・コンフィギュレーションではデータ転送率が最大 50% 向上。また、「Avid NEXIS | Enterprise」システムの容量を倍増し、ネットワーク接続された単一システムで最大 48 メディアパックをサポートする。「Avid NEXIS | E5、E4、E2」を自由に組み合わせる

ことが可能で、ストレージ容量を最大約 3PB 近くまで、また、帯域幅を 28GB/s まで拡張可能に。

「Avid NEXIS」向けに最適化された「Pro Tools」ソフトウェアバージョンは、第 2 四半期後半、「Avid NEXIS」新バージョンは、第 2 四半期後半にリリースする予定。

## ◆Avid：4K モニタリングとユニバーサル・マスタリングをサポートする「Artist | DNxIQ」を公開

アビッドテクノロジー(株)は NAB SHOW 2017 で「Avid Artist | DNxIQ」の後継機となる「Avid Artist | DNxIQ」を発表した。「Avid Artist | DNxIQ」は、Blackmagic Design との提携で作られた、SD から 4K まで幅広いフォーマットに対応する新たなハードウェア・インターフェース。統合プラットフォーム「Avid MediaCentral Platform」のオープン性により、「Avid Artist | DNxIQ」は、全ての Avid Artist Suite に加えて、Blackmagic DaVinci Resolve、Apple Final Cut Pro X、Adobe Premiere Pro CC 等、数多くのサードパーティ製制作ツールに対応する。出力および再生時に、フォーマットとフレームレートをリアルタイム変換できるユニバーサル・マスタリング機能は、「Media Composer | Symphony」オプションに最適。新たなインターフェースは、SD、HD、2K、UHD、4K のインジェスト、モニタリング、出力に対応する。主要 NLE のほぼ全てに対応するだけでなく、Mac および PC の Thunderbolt 3 と PCIe をサポートする。

### 【問い合わせ先】

アビッドテクノロジー株式会社

<http://www.avid.com/ja>

\*\*\*\*\*

## ◆パナソニック：デジタルハイビジョンテレビ「ビエラ」の新機種を発表

パナソニック(株)はデジタルハイビジョンテレビ「VIERA (ビエラ)」の新機種を 6 月 16 日に発売する。

## E300 シリーズ「TH-49E300」「TH-43E300」「TH-32E300」

- ・ダブルチューナー搭載でUSBハードディスクに裏番組の録画ができる。
- ・「お部屋ジャンプリンク」対応で別室のディーガなどに録画した番組を楽しめる。
- ・視野角が広く斜めから見てもキレイなIPS液晶パネルを搭載

## 4K ビエラ「TH-65EX780」

- ・「ヘキサクロマドライブ」の進化で4K映像の臨場感アップ
- ・「使いやすさ」の進化で見たいものをかんたんに探せる
- ・見やすい角度に調整できる「スイーベル<首振り>機構付スタンド」
- ・豊富な4Kネット動画を楽しめる

## 有機ELパネルを使用したEZ950シリーズ「TH-65EZ950」「TH-55EZ950」

- ・忠実な黒・色再現を可能にする「ヘキサクロマドライブPLUS」
- ・映像に集中できるシンプルでスタイリッシュなデザイン
- ・「使いやすさ」の進化で見たいものをかんたんに探せる

## ビエラ史上最高画質を実現した大画面有機ELテレビ「TH-65EZ1000」

- ・「ヘキサクロマドライブPLUS」によるビエラ史上最高画質
- ・総出力80W。「Tuned by Technics」の卓越したサウンド
- ・薄さ6.7mm(最薄部)。360°どこから見ても美しいデザイン「ART & INTERIOR」
- ・「使いやすさ」の進化で見たいものをかんたんに探せる
- ・豊富なネット動画を楽しめる

### 【問い合わせ先】

パナソニック株式会社 お客様ご相談センター

TEL:0120-878-365

## ◆パナソニック：ブルーレイディスクレコーダー「全自動DIGA（ディーガ）」3機種を発売

パナソニック(株)はブルーレイディスクレコーダー「全自動ディーガ」シリーズの新モデルとして「DMR-UBX7030」「DMR-UBX4030」



「DMR-BRX2030」を5月19日から発売した。同シリーズでは、最大10チャンネル×28日ぜんぶ自動録画／自動消去に加えて、新たにゴールデンタイムの地デジのドラマを約90日間自動でおとりおきできるようになった。別売のUSBハードディスクを接続し録画することができ、最大で4TBまで対応し、8台まで登録可能。録画した番組をジャンル別やよく見る番組ごとに整理する「新着番組」も進化した。専用スマートフォンアプリ「Panasonic Media Access」を使えば外出先からでも10チャンネル×28日分の番組を楽しむことができ

る。さらに次世代のブルーレイ規格「Ultra HD ブルーレイ」の再生やCDの音楽をハードディスクに取り込める「CDリッピング」に対応し、映像も音楽も楽しむことができる。

### 【問い合わせ先】

パナソニック株式会社 ディーガ・オーディオご相談窓口

TEL:0120-878-982

\*\*\*\*\*

## ◆ソニー：4K高画質プロセッサ搭載、映像と音を融合させた有機EL「A1」などブラビア12機種発売

ソニー(株)は、4Kブラビアの新商品として、4K有機ELテレビブラビア「A1シリーズ」2機種、ならびに4K液晶テレビブラビア「X9500Eシリーズ」2機種をはじめとする5シリーズ12機種を発売する。



「A1シリーズ」

全モデルにおいて、映像本来の明るさやコントラスト、鮮やかな色を再現するHDR信号に対応しており、同社独自の高画質技術が結集されている。

「A1シリーズ」では、「X1 Extreme」が自発光デバイスである有機ELパネルの特長を最大限に引き出すことで、現実世界により近い深い黒や明るさの表現が可能になった。民生用大型テレビとして有機ELパネルを採用するにあたり、同社製の業務用有機ELモニターの製品開発に携わったエンジニアも参画し、パネルの能力を最大限に発揮する技術を開発。プロフェッショナルに評価される技術を応用することで、同社ならではの「A1シリーズ」の高画質を実現した。また、面自体を振動させて音を出力する新たな音響システム「アコースティックサーフェス」を搭載。通常は画面周辺に配置されるスピーカー部分をそぎ落とし、正面からスピーカー、スタンドが見えないデザインと高音質を可能にした。「A1シリーズ」は、同社独自の高画質技術と音響技術、さらに没入感を高めるデザインとの一体感により、新しい映像体験を実現している。

「X9500Eシリーズ」は、「A1シリーズ」と同様に「X1 Extreme」を搭載。さまざまなSDR映像をHDR映像相当にアップコンバートする「HDRリマスター」をはじめ、幅広いコンテンツの画質を向上させる数々の技術により、高精細・高コントラスト・広色域な美しい映像を再現する。また、高コントラスト表現を可能にする技術「X-tended Dynamic Range PRO」と、より高効率化かつ高精度な部分駆動を可能にした、進化したソニー独自の薄型バックライト技術「Slim Backlight Drive+」との連携により、従来よりもさらに高輝度、高コントラストを実現した。音質においては、サイドスピーカーをスリムにしなが、ハイレゾリレーション音源に対応し、ウーファー、サブウーファーには磁性流体スピーカーを採用。中高域で伸びのある明瞭なサウンドと、締まりの良い瞬発力ある低音を実現する。



全機種に Android TV 機能が搭載されており、音声による録画予約検索や、小画面表示、タスク切替、かんたんメニューなどが可能。また、全機種で HDR10、スカパー！ 4K HDR 放送に加え、一部モデルにおいては Dolby Vision に対応予定。

## ◆ソニー：最新の音声フォーマット「Dolby Atmos」「DTS:X」対応、マルチチャンネルインテグレートアンプ発売

ソニー(株)は「Dolby Atmos」と「DTS:X」に新たに対応したマルチチャンネルインテグレートアンプ「STR-DN1080」を6月17日に発売する。



「Dolby Atmos」、「DTS:X」は従来のチャンネルベースに、音の位置情報や移動情報（オブジェクト情報）を加えた最新の音声フォーマット。前後左右を中心とした従来のサラウンド音場に対して、高さ方向の表現力を加えた3次元の立体音響技術により、全方位からの音に包みこまれるリアルな音響空間を楽しめる。また、ステレオ音源や5.1ch、7.1chのマルチチャンネル音源を「Dolby Atmos」、「DTS:X」のスピーカーレイアウトに合わせて処理し、再生することができる「Dolby Surround」、「Neural:X」にも対応している。

同社独自の自動音場補正機能「D.C.A.C. EX」を採用。付属のステレオマイクで部屋の音響特性を測定し、各スピーカーの距離、音圧（レベル）を自動で精密に補正し、31バンドのグラフィックイコライザーによる周波数の補正では、3タイプの周波数特性からお好みに合わせて設定可能。これらにより、理想的なホームシアターの設置環境を構築する。「D.C.A.C.EX」には、自動位相マッチング機能「A.P.M.（オートマッチク・フェーズ・マッチング）」が搭載されており、フロントスピーカーと異なるスピーカーをサラウンドやセンターなどに使った場合でも、位相特性をフロントの特性に合わせて揃えることでチャンネル間の音のつながりが向上し、すべてのスピーカーをフロントスピーカーで構築したかのような、つながりのあるサラウンド空間を実現する。さらに、スピーカーの設置位置が理想的ではない場合でも、音源の位置をサラウンド再生の理想とされる位置と角度に再配置する「スピーカーリロケーション」や、7.1ch対応アンプを5.1chや5.1.2chのスピーカー構成で使用した場合でも、サラウンドバックチャンネルを生成する「ファントム・サラウンドバック」を実現。理想的なサラウンドを再現する。

デジタル基板用に新設計された一体成型メタルフレームは剛性・堅牢性が高く、基板に伝わる振動を軽減しオーディオ信号が変調することを防ぐ。加えて、ヒートシンクブラケットが、高速で動作するデジタル回路から発せられる不要な電磁波に起因するノイズの影響を防ぐためのシールドの役割も果たす。また、HDMIとDAC系のデジタル系基板を一枚の4層基板に集約することで、信号経路を極限まで短縮したデジタル系回路基板を採用。電氣的距離を限りなくゼロとすることで高音質を実現した。さらに、これまで以上に高度なDSP処理を実現するために、高精度DSPが3基搭載されている。

最大でDSD 5.6MHzマルチチャンネルに対応したDSDネイティブ再生が可能。高品位なハイレゾ音源再生を楽しめる。また、同社独

自の高精度なデジタル音場処理技術による「S-Force PRO フロントサラウンド」を搭載し、フロントスピーカーだけでも手軽に臨場感のある仮想サラウンド空間の再現を実現した。画質面においては、高輝度・高コントラストで色調豊かなHDR信号のパススルーに対応。HDR10、HLGの対応に加え、Dolby Visionにも対応予定。また、圧縮が無くより鮮やかな色表現が可能な4K/60p 4:4:4信号のパススルーにも対応している。

## ◆ソニー：初の Ultra HD ブルーレイプレーヤー発売。高音質設計で臨場感あふれるシアター体験

ソニー(株)は4K解像度に加え、映像本来の明るさ、コントラスト、鮮やかな色を再現する



HDR信号に対応した新しい高画質メディア規格「Ultra HD Blu-ray」の再生が可能なUltra HD ブルーレイ/DVD プレーヤー「UBP-X800」を6月24日に発売する。最新の音声フォーマット「Dolby Atmos」や「DTS:X」で収録したコンテンツの再生も、対応AVアンプと組み合わせることで、4K HDRの美しい映像とともに、シアターのような臨場感あふれる音環境で視聴を楽しめる。

HDR非対応の従来の4Kテレビなどで視聴するため、4K HDRのコンテンツをSDRレベルに変換する際、バランスの良いコントラストと自然な色調の再現が可能な、同社独自のアルゴリズムが搭載されている。また、テレビ用に5段階、プロジェクター用に5段階の計10段階の変換レベルを設定でき、テレビやプロジェクターの輝度に合わせた最適な明るさのレベルを選ぶことができる。

## ◆ソニー：Bluetooth 接続でスマホのコンテンツも楽しめる ヘッドホン一体型ウォークマン「WS620 シリーズ」発売

ソニー(株)は内蔵メモリーからでも、Bluetooth接続したスマートフォンからでも音楽やインターネット配信のコンテンツを楽しめる、防水、防塵、耐寒熱性能のヘッドホン一体型ウォークマン「WS620 シリーズ」を6月10日に発売する。



ヘッドホン一体型でメモリーを内蔵しているため、スポーツ中も身軽に音楽を聴けるほか、ワイヤレスヘッドホンが使えない水中でも使用可能。Bluetooth対応のため、ワイヤレスヘッドホンのように使うこともできる。スマートフォンと接続し、保存している楽曲のほか、Spotifyなどの音楽ストリーミングサービスで共有されているランニングやワークアウト向けのプレイリストや、インターネットラジオなど多彩なコンテンツを楽しめる。NFC（近距離無線通信）も搭載し、対応するモバイル機器と簡単に接続可能。

ヘッドホンの左右に内蔵したマイクで周囲の音や人の声を取り込む機能が搭載されており、機能をオンにすれば、音楽を楽しみながらも周

りの音を聴くことが可能になるため、周囲の状況に気を配りつつ、スポーツに集中することができる。また、周囲の人とコミュニケーションを取れるので、仲間と一緒にランニングやトレーニングをする際にも便利。外音の音量は3段階まで変えられるほか、機能自体をオフにすることも可能。

腐食に強い端子と本体表面の防汚コーティング採用により、水泳中でも使える JIS 防水保護等級 IPX5/8 の防水性能に加えて、海水（塩水）にも対応した。その上、独自のシール構造による防塵性能、低温環境下でも硬化しにくいシリコンゴム材と高温下でのバッテリー保護システムによる耐寒熱性能で、音楽を聴ける場所や使い方の幅が広がる。さらに、従来機（WS 610 シリーズ）に比べてヘッドホン部分の体積を約 35% 減少。本体重量も軽量化して約 32g と、ワイヤレスヘッドホンと比べても気にならない重量を実現した。耳の回りのケーブルの固定部を長くすることで装着安定性も向上しており、よりスポーツに集中しながら音楽を楽しめる。「NW-WS625」は付属のリングタイプリモコンで、スポーツ時にも片手で楽に操作可能。

## ◆ソニー：35mm フルサイズ対応 E マウントレンズの新商品として広角ズームレンズ 2 本を発売

ソニー(株)は 35mm フルサイズ対応 α「E マウント」レンズの新商品として、大口径広角ズームレンズの G マスター「FE 16-35mm F2.8 GM」と、超広角ズームレンズの G レンズ「FE 12-24mm F4 G」を発売する。



「FE 16-35mm F2.8 GM」

「FE 16-35mm F2.8 GM」は画面中心から周辺まで高解像かつダイナミックに捉える開放 F 値 2.8 の大口径広角ズームレンズ。広い画角と F2.8 の大口径を生かし、幅広い撮影領域でプロフェッショナルも満足できる描写が可能。ラストストップレベルの軽量設計により機動力も高く、風景や建物などのダイナミックな光景からスナップやブライダル、そしてスポーツ撮影まで幅広いシーンで活躍できる。また、高い近接撮影性能を持ち、特にポートレート撮影では広角の背景描写となめらかなぼけ味がより被写体を引き立たせる。G マスターとして画面中心から周辺の隅々まで高い解像性能を実現すると共に、美しいぼけ描写が特長。2 枚の超高度非球面 XA（extreme aspherical）レンズを採用し、そのうち最前面に配置した 1 枚は製造難易度が高く過去最大の径となる新開発の XA レンズである。計 5 枚の非球面レンズと色収差を低減する ED（特殊低分散）ガラス 2 枚により、諸収差を補正してシャープに描写する。また、フレアやゴーストを抑制するソニー独自のナノ AR コーティングを採用した最新の光学設計により、階調豊かでクリアな画像を実現する。8 月発売予定。



「FE 12-24mm F4 G」

「FE 12-24mm F4 G」は高画質と小型軽量デザインを両立し、E マウント最広角の 12mm をカバーする超広角ズームレンズ。風景や建物を遠近感のある印象的な映像で表現し、プロフェッショナルやハイアマチュアの高い要望にも応える。また、小型軽量デザインによりラストストップレベルの質量約 565g を達成しており、小型軽量のミラー

レス一眼カメラ α と共に機動力の高いシステムを提供する。超広角ながら、非球面レンズ 4 枚を含む新規光学設計により G レンズならではの高い描写性能を発揮する。また、ED ガラス 3 枚とスーパー ED ガラス 1 枚で色収差を低減し、ソニー独自のナノ AR コーティングにより広角で発生しがちなフレアやゴーストを抑制して、画面周辺まで高解像を実現する。ズーム全域で開放 F 値は 4 で、静止画だけでなく動画撮影にも最適。7 月発売予定。

### 【問い合わせ先】

ソニーマーケティング株式会社 買い物相談窓口

TEL:0120-777-886（フリーダイヤル）

TEL:050-3754-9555（携帯電話・PHS・一部の IP 電話など）

## ◆ソニービジネスソリューション：「フジ・メディア・テクノロジー」事例を掲載

ソニービジネスソリューション(株)は同社コーポレートサイトに、ソリューション事例「株式会社フジ・メディア・テクノロジー」を掲載した。フジテレビ系列制作会社、(株)フジ・メディア・テクノロジーではソニーの 4K 対応機器のリリースタイミングに合わせ、2016 年 9 月、4K/HD の双方に対応した大型中継車を導入し、プロ野球や大学野球、J リーグ、プロバスケットボールリーグを始めとしたスポーツ中継で活用している。カメラ・スイッチャーなど、全て 4K 映像制作に対応した機器を採用することで、従来の HD 映像制作と同様のスキームで 4K 映像制作が可能になった。4K/HD 対応大型中継車「FR4k」の制作にあたって、どのような課題があったのかなどについて掲載されている。

## ◆ソニー：企業や教育現場での円滑な議論をサポートするコラボレーションシステム「Vision Exchange」発売

ソニー株式会社は手持ちのモバイル端末や PC と Wi-Fi など で 連 動 し て、直 感 的 な 操 作 で 手 軽 に 情 報 共 有



Vision Exchange メインユニット「PEQ-C130」

や共同作業を行えるコラボレーションシステム「Vision Exchange（ビジョン エクスチェンジ）」を 2018 年 1 月に発売する。同システムは、会議のプレゼンテーションやグループディスカッションに用いるツールで、議論の参加者の様々な意見やアイデアを素早く共有し、円滑で効率的な議論をサポートすることを目的に開発された。無料アプリケーションをモバイル端末や PC にダウンロードすることで、PC やタブレット等のモバイル端末にある情報を「Vision Exchange」経由で、共通ディスプレイやプロジェクターに直感的かつシンプルな操作で共有できる。

従来の会議では、参加者の様々なアイデアを表示するため、発言する人が変わるたびに PC にケーブルをつなぎ直す手間がかかる。また、映像使用時にすぐに映像が出ないなどの進行の課題がある。「Vision

Exchange」では、発表者は手持ちの端末を用いて様々な接続機器（Wi-Fi または HDMI 入力対応）の映像や画像を手軽な操作で切り替え、会議室などの共通ディスプレイに当画面を表示できる。また、出席者の端末にある情報をそれぞれ共通ディスプレイにミラーリングして、最大 6 端末まで表示することができる。表示した映像や画像に、文字や絵を上書きするアノテーション機能や、白紙画面から文章を書き込めるホワイトボード機能などの操作を複数の端末から同時に行える機能もある。議論に有用な情報を即時に表示し、アイデアを書き込み、集約や分析をすることで、スピーディーにアイデアを交換し議論を深めることができる。

## ◆ソニービジネスソリューション：青山学院大学へデジタルペーパー新製品を納品

ソニービジネスソリューション(株)は青山学院大学に、デジタルペーパーの新モデル「DPT-RP1 65 式」とデジタルペーパー連携サーバーソフトウェアを先行納入した。2017 年 4 月より稼働開始している。同社のデジタルペーパーソリューションは、「書きながら考える／考えを整理する／理解する」という学びの基本を提供することで、学生の主体的学びを支援、学内の富士通社製 LMS（授業支援システム：Learning Management System）との連携を強化し、効率的な学修環境を創出する。

同システムの導入により、手書きの情報を無線 LAN 経由で教員と学生がやりとりしたり、手書きによる学修履歴の管理、蓄積したりすることが可能になる。手書きによるコミュニケーションは、個々の学生の理解度を的確に把握することにつながり、講義内容や方法の改善と向上にも貢献することが期待される。

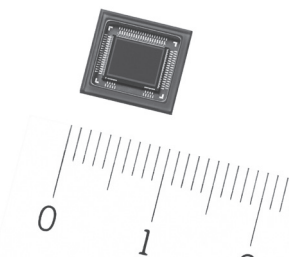
さらに、教員から学生への講義資料やレジュメ、課題の配付、またレポートやテストの回収も、LMS を通して行うことができ、配付、回収にかかる作業を効率化するとともに、添削作業のペーパーレス化も実現する。

### 【問い合わせ先】

ソニービジネスソリューション株式会社 業務用商品相談窓口  
TEL:0120-788-333（フリーダイヤル）  
TEL:050-3754-9550（携帯電話・PHS・一部の IP 電話など）

## ◆ソニー：毎秒 1,000 フレームで対象物の検出と追跡を実現する高速ビジョンセンサーを商品化

ソニー(株)は毎秒 1,000 フレームの高速センシングで対象物の検出と追跡を実現する高速ビジョンセンサー「IMX382」を商品化し、2017 年 10 月よりサンプル出荷を開始する。同ビジョンセンサーは、裏面照射型画素部分と信号処理回路部分を積層しており、回路部分には高速で対象物の検出と追跡などを行う、画像処理回路とプログラブルな列並列



プロセッサを搭載している。これにより、裏面照射型画素部分で高感度に撮像し、さらに対象物の検出、追跡といったセンシングまでの処理を毎秒 1,000 フレームで実現した。同ビジョンセンサーは、画素から得られた色や輝度などの情報によって対象物を検出しており、さらにその対象物の重心位置や面積、動きの方向などを検出し、それらの情報をフレーム単位で出力することができる。

## ◆ソニー：4K 超短焦点プロジェクター「LSPX-W1S」の意匠で「発明協会会長賞」を受賞

ソニー(株)は公益社団法人発明協会主催の平成 29 年度 全国発明表彰において、4K 超短焦点プロジェクター「LSPX-W1S」の意匠で、「発明協会会長賞」を受賞した。同賞は、科学技術の分野で秀でた進歩性を有し、かつ、顕著な実施効果を挙げている発明等が対象で、全国発明表彰の中でも上位の賞である。

今回の受賞は、映像を視聴する際にテレビやスクリーンを必要とせず、ローボードから映像が飛び出したかのような体験と、空間との調和をはかった佇まいが高く評価されたもの。この意匠は、高画質を生み出す「4K SXRD パネル」、大画面と省スペースを同時に可能にする「超短焦点レンズ」、瞬時に点灯し劣化に強い「青色レーザーダイオード光源」の 3 つの技術の組み合わせによって実現した。

### 【問い合わせ先】

ソニー株式会社  
<http://www.sony.jp/>

\*\*\*\*\*

## ◆ヴィレッジアイランド：AfterNAB2017 出展情報

AfterNAB2017 大阪、AfterNAB2017 東京に出展した(株)ヴィレッジアイランドは、「12G-SDI」「4K/8K 伝送」「TICO」「SMPTE 2022-6/7」「マルチビューワ」「TS 記録再生」というキーワードで、同社の自社開発製品および放送業界で注目されている製品を中心に展示を行った。



### ・VICO-4/8

4K/8K60p(4:2:2) の SDI 入力映像を TICO コーデックで 4:1 に圧縮し、1 本の SDI ケーブルで伝送する TICO SDI コンバータ。「VICO-4」は 12G/3G-SDI 入力。「VICO-8」は 12G-SDI 入力。TICO(SMPTE RDD35)は、映像圧縮による視覚的画質劣化のないビジュアリー・ロスレスで超低遅延伝送（数十ラインの固定遅延）が可能な圧縮技術。1RU ラックタイプを展示。ボード単体での OEM 提供も可能。大阪会場では無料の VICO セミナーが開催され、東京会場では VICO-4 と BarnMini-11 による 4K 伝送のデモが行われた。



## ・BarnFind

「BarnMini-11」は12G-SDIと光のメディアコンバータ。SMPTE2022-6/7対応のSFP+トランシーバに対応する。同社商品「VICO」のエンコーダ/デコーダ間接続を、簡単かつローコストで光ファイバー化し、長距離伝送を容易にローコストで実現。



## ・Quales

高性能、ローコストな映像品質自動評価ソフト。4K HEVC を含むほとんどの放送コンテンツを検査可能。フリーズ等エラーを自動検出し、レポート作成まで自動化する。費用対効果においてファイル QC の決定版。

## ・FlexViewer

IP/SDI 入力対応、高性能マルチビューワ。Mpeg-2@9.5Mbps 素材では、45 チャンネルまで表示可能。装置のカスケード接続が可能で、H.264 素材で 35 チャンネル分の表示も可能。最大出力解像度は 4K で、自由なレイアウト出力が可能。業務用映像監視で実績を持ち、またデジタルサイネージ等への応用が可能。

## ・FlexRecorder

高性能でローコストな SDI 入力 TS 記録再生装置。UHD4K を、ビジュアルロスレス JPEG2000 コーデックで記録することが可能。

## ◆ヴィレッジアイランド：Broadcast Asia 2017 出展情報

(株)ヴィレッジアイランドはシンガポールで開催される Broadcast Asia 2017 に現地法人 VILLAGE island Asia として出展し、日本でいち早く製品化された 4K60P 対応 TICO SDI コンバータ「VICO-4」を出展する。

## ◆ヴィレッジアイランド：総務省 情報通信月間推進協議会 平成 29 年度行事にマルチビューワを機材提供

2017 年 5 月 18 日、(株)ヴィレッジアイランドは総務省 情報通信月間推進協議会 平成 29 年度行事にマルチビューワを機材提供した。

## 行事名：「世界の大学教授が結ぶ信頼できるネット情報の共有に向けて のイノベーション」

ブロードバンド配信連盟、真咲なおこ情報通信総合研究所主催により、工学院大学ファカルティクラブにて開催された同行事において、同社は自社製品の IP 対応高性能マルチビューワ「FlexViewer」を機材提供しデモを実施した。

IP によるネットワーク接続により、世界中の大学教授をリアルタイムで結ぶことが容易にできるようになった。数十人の大学教授のリアルタイム映像を画面に並べて表示し、パネラーやコメンテータ、一般視聴者の映像もあわせ、大画面 1 枚で容易に見ることができる。パブリッ

クビューイングと同じように、一般に向けての情報提供も容易。これまで局内用の設備であったマルチビューワが、ICT コミュニケーションツールとしても極めて有効であることがこの行事で体験された。

## 【問い合わせ先】

株式会社ヴィレッジアイランド  
<http://village-island.com/jp/>

\*\*\*\*\*

## ◆リーダー電子：After NAB Show Tokyo 2017 出展

リーダー電子(株)は 6 月 1 日、2 日に開催された After NAB Show Tokyo 2017 に出展。次世代高度放送サービスに向け同社が取り組んでいる 4K ソリューションの 12G-SDI、HDR、カメラノイズメーター、IP 製品を展示した。

主な出展製品はラスライザ「LV 7390」、ポータブル波形モニター「LV 5333」、シンクジェネレータ「LT 4610」、4K 波形モニター「LV 5490」など。「LV 7390」、「LV 5333」、「LV 5490」は SDR 領域をモノクロに、HDR 領域を明るさに応じた着色をして HDR 領域の輝度分布ができる HDR ゾーン表示ができる。「LV 5333」は、HDR 対応オプション「LV 5333SER02」を追加して展示された。バッテリー駆動可能なポータブル機で HDR ゾーン表示や HDR のスケールによるレベル管理ができる。「LT 4610」には 12G-SDI オプション「LT 4610SER02」が追加され、4K 12G-SDI や 4K 3G クワッドでカラーバーや自然画が出力可能になった。他に新製品の「LT 4610」用チェンジオーバー「LT 4448」などが展示された。



ラスライザ「LV 7390」



ポータブル波形モニター  
「LV 5333」

## 【問い合わせ先】

リーダー電子株式会社  
<http://www.leader.co.jp/index.html>

\*\*\*\*\*

## ◆エムアイセブンジャパン：「Studio One」の無償アップデートであるバージョン 3.5 を発表

(株)エムアイセブンジャパンは DAW ソフト「Studio One」の無償アップデートであるバージョン 3.5 を発表した。「PreSonus Studio One 3.5」には、60 を超える新機能と機能向上が含まれており、日本およびコミュニティからのリクエストによる新機能も多数含まれている。「Studio One 3.5」の新機能には、リデザインされた統合的なマスタ

リング・スイートのプロジェクト・ページ、柔軟なミキサー・セクションのUNDO機能、PreSonusの新しいオーディオ・インターフェース等でのニアゼロ・レーテンシー・ソフトウェア・オーディオおよびバーチャル・インストゥルメント・モニタリングを可能とするパワフルなネイティブ低レーテンシー・オーディオ・エンジンなどが用意されている。さらに、「Studio One」とベストマッチな楽譜作成ソフトウェア「Notion」への拡張したデータ転送オプションや、「StudioLive Series III ミキサー」とのミックス互換性を拡張したFat Channel XTプラグインなど、パワフルなワークフローの機能向上も豊富に搭載された。

## 【問い合わせ】

株式会社エムアイセブンジャパン  
<https://www.mi7.co.jp/>

\*\*\*\*\*

## ◆アップル：Apple Store 全店で写真、ビデオ、音楽、プログラミング、アート&デザインなど数十種類の新しい講座を学べる「Today at Apple」提供

2017年4月25日、アップルは直営のApple Store全495店において、写真、ビデオ、音楽、プログラミング、アート&デザインなど幅広い分野で、数十種類の新しい講座を開始することを発表した。この実践的な講座を総称して「Today at Apple」とし、経験豊富で、トレーニングされたチームメンバーによる指導のほか、一部の都市では世界トップクラスのアーティスト、フォトグラファー、ミュージシャンたちを講師に迎え、ベーシックやHow to、プロレベルの講座まで学ぶことができる。

無料プログラムは、お客様から愛されているApple製品の特長や機能性に着目して、初心者から上級者まで、あらゆる年代まで、あらゆる技能レベルや年齢に応じて提供される。また、家族や教職員向けの特別プログラムも提供される予定。iOSおよびMacアプリケーションを開発できるAppleのプログラミング言語Swiftを使ったプログラミング方法を学ぶこともできる。

## 【問い合わせ先】

アップル  
<https://www.apple.com/jp/>

\*\*\*\*\*

## ◆エーディテクノ：モニター用低重心無段階角度調整式自立スタンド「STD\_001」発売

(株)エーディテクノは業務用マルチメディアディスプレイに取り付け可能な低重心無段階角度調整式自立スタンド「STD\_001」を6月上旬に発売する。同製品はマウントがVESA規格FPMPMI75x75/100x100mmに



対応最大で約160°までの無段階角度調整が可能。耐荷重は8kgまでで、小型から中型サイズのモニターに取り付けて使用できる。折り畳み時は約50mmの高さになるのでコンパクトに収納できる。低重心なのでモニター取り付け時も安定した設計になっている。

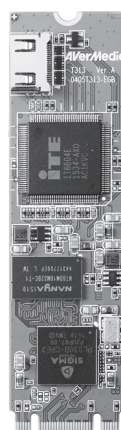
## 【問い合わせ先】

株式会社エーディテクノ  
<http://www.ad-techno.com/>

\*\*\*\*\*

## ◆ネットウェル：産業用小型パソコンへ搭載可能なM.2用キャプチャーカード販売開始

(株)ネットウェルは日本販売代理店として輸入販売している、AVerMedia Technologies社の新製品である、フルHD(1920x1080)解像度の映像をM.2スロット経由で取り込めるキャプチャーカードシリーズを10月1日から日本での販売を開始する。産業用小型パソコンで広く利用されているM.2スロット経由で高画質映像を取り込めるキャプチャーカードは非常に種類が少なく、販売が待ち望まれている。このカードを利用することにより、従来のPCI Express型と同等の高画質映像を小型のM.2サイズのカードで取り込むことが容易となり、システム的大幅なダウンサイジングが可能になる。



## 【問い合わせ先】

株式会社ネットウェル ビデオネットワークソリューション営業部  
 TEL：03-5368-3473 FAX：03-3226-2860

\*\*\*\*\*

## ◆フォトロン：自社開発テロップ制作システム「TFX-Artist」新バージョン/Avid Media Composer 連携アプリ発表会を6月8日(木)に開催

(株)フォトロンは、国産・自社開発テロップ制作システム「TFX-Artist」の新バージョンVer.1.2及び業界標準の4K対応ノンリニア編集システム「Avid Media Composer」連携アプリ(プロトタイプ版)発表会を、フォトロン本社にて、2017年6月8日(木)に開催する。「TFX-Artist」は、2016年8月に発売された、操作性とスピードを追求した国産・自社開発のテロップ制作システム。画・静止画に対応した自由度の高いテキスト機能や、幅広い表現を可能にするVFXプラグイン/グラデーションのほか、他システムとの連携を実現するファイル入出力機能を搭載している。

## 開催概要

日時：2017年6月8日(木) 15:00～17:30(14:30受付開始)  
 会場：株式会社フォトロン 本社

対象：テロップ制作にかかわるお客様

定員：60名（1社3名まで）

参加費：無料（要事前申し込み）

内容：最新バージョン Ver.1.2 新機能の紹介

Avid Media Composer 連携アプリプロトタイプの紹介

## ◆フォトロン：After NAB Show TOKYO 2017に出展、Avid ×Resolveによる4K HDR映像制作ワークフローを紹介

㈱フォトロンはAfter NAB Show TOKYO 2017に出展、編集ストレージとして「Spycer Box Cell」を、メディア共有ストレージには「NEXIS | E4」を使用し、NAB2017で発表されたI/Oインターフェイスの新製品「Artist | DN x IQ」と「Media Composer」,「DaVinci Resolve」による4K HDRワークフローのデモを行った。

【問い合わせ先】

株式会社フォトロン 映像システム事業本部

TEL:03-3518-6273 FAX:03-3518-6279

\*\*\*\*\*

## ◆公益財団法人ユニジャパン：第30回東京国際映画祭、 10月25日～11月3日開催

1985年5月、日本で初めての大規模な国際映画祭として開催された「東京国際映画祭」は2度の隔年開催を経て、2017年10月、30回という節目の年を迎える。今年、世界中から多くの映画人が集まるカンヌ国際映画祭に合わせて、特別企画第1弾が発表された。

### 第30回記念特別企画 Japan Now 部門女優特集 「Japan Now 銀幕のミューズたち」

今、世界に発信したい日本を代表する作品の数々を、映画祭独自の視点でセレクトするJapan Now部門。アニバーサリーイヤーの今年は特別賞として、日本映画界のクリエイターをインスパイアし、スクリーンで輝く現代のミューズ、女優の安藤サクラ、蒼井優、満島ひかり、宮崎あいの4名を特集する。

### 第30回東京国際映画祭アニバーサリービジュアル

第30回のメインビジュアルとして、リオオリンピック・パラリンピック閉会式のフラッグハンドオーバーでクリエイティブスーパーバイザー、チーフアートディレクターを務めた佐々木宏（クリエイティブ・ディレクター）、浜辺明弘（アート・ディレクター）を迎えて制作した新ビジュアルが解禁された。新たな30年を祝う「祝祭観」、そして何処にもない「TOKYO」の魅力を強く打ち出したいとの思いから日本を代表する写真家で、映画監督でもある蛭川実花の写真が起用された。

【問い合わせ先】

第30回東京国際映画祭

<http://2017.tiff-jp.net/ja/>

## ◆シャープ：「シャープ スマートタウン（仮称）構想」

プロジェクトが始動

シャープ㈱と野村不動産㈱はシャープ田辺ビルの敷地を利用して、住宅とオフィスとを核とした「シャープ スマートタウン（仮称）構想」の検討を共同で進めることに合意した。

シャープは、目指す事業の方向性として「人に寄り添うIoT」を掲げ、幅広い事業領域やAIoT[AI（人工知能）×IoT]技術、音声対話技術などを強みに、機器と人とがココロ通じ合うスマートホームや、働く人々がいきいきと活躍できるスマートオフィスなどが連携し、人々がより豊かに暮らせるスマートな社会の実現を目指している。一方、野村不動産は「PROUD」シリーズの分譲マンションにおいて、製販管一貫体制のもと顧客ニーズを的確に捉えることで常に進化を続ける住まいのナンバーワンブランドを目指している。また、野村不動産は「ふなばし森のシティ（プラウド船橋）」で「ワールドスマートシティ・アワード」プロジェクト部門賞を受賞、フランス政府が推進する持続可能な街づくりを認証する制度である「エコカルティエ認証」（環境配慮型地区認証）をフランス国外で初めて取得などスマートタウンの実績を持っている。

こうした背景を踏まえ、同敷地において、シャープはスマートオフィス構想を盛り込んだ中核拠点となりうる自社ビルの建設を、また、シャープと野村不動産は協力して、両社の強みを結集させた先端のスマートマンションの建設を目指す。

【問い合わせ先】

シャープ株式会社

<http://www.sharp.co.jp/>

## ◆シャープ：岡山県総合教育センターがプログラミング教育 として県内の公立学校を対象に「RoBoHoN（ロボホン）」の貸し出しを開始

岡山県総合教育センターはプログラミング教育を推進するため、パソコンにつないでプログラミングができる「ロボホン」を15体導入、県内の公立学校を対象に貸し出しを開始した。同センターは「ロボホン」本体だけでなく授業に必要なパソコンなどの機材も同時に貸し出しを行い、効果的にプログラミング学習ができる環境を提供する。

「ロボホン」は今回、子供向けのビジュアルプログラミング言語「Scratch（スクラッチ）」に対応、生徒自身でのプログラミングが可能になった。「Scratch」は通常のプログラムのようにプログラムコードを書く必要がなく、パソコンの画面上で「動き」や「演算」などのブロックを組み合わせることで簡単にプログラムを作成することができる。さらに、英語・中国語の聞き取り・発話もできるので外国語学習に応用することも可能。同社は2020年度以降、小学校においてプログラミング教育が必修化されることを見据え、『ロボホン』を使ったプログラミング教育を全国の教育機関に提案していく。

【問い合わせ先】

シャープ株式会社 「ロボホン」サポートセンター

TEL:050-5577-7649